

## 4年次保健体育（MYP 5 Physical & health education）【体育：2単位】【保健：1単位】

### 科目のねらい

MYP保健体育の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・探究学習を通して、保健体育の概念を研究する。
- ・身体活動（運動）の価値を理解する。
- ・健康的な生活（ライフスタイル）を維持する。
- ・効果的に他人と協力したり、コミュニケーションをとったりする。
- ・他人と建設的・肯定的な関係を構築し、社会的責任を示す。
- ・自身の学習経験を振り返る。

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：知識と理解	保健体育の知識について、事実、手続き、概念の側面から説明する。
	保健体育の課題を分析し、既知及び未知の状況に設定された問題を解決するため、保健体育の知識を応用する。
	理解した内容についてコミュニケーションをとるため、保健体育の用語を効果的に応用する。
B：パフォーマンスと計画	健康や身体的活動の改善のための計画を策定し、説明、及び正当性を示す。
	成果に基づき、計画の有効性（効果）について分析し評価する。
	幅広く技術や技能を効果的に応用する（実際に示す）ことができる。
C：技能	幅広い方策と運動概念を応用する（実際に示す）ことができる。
	効果的に実践するために情報を分析・応用することができる。
	対人技能を高めるための方策を説明し、実際に示すことができる。
D：パフォーマンスの振り返りと改善	パフォーマンスを高めるために目標を説明し、方策を応用することができる。
	パフォーマンスを分析し、評価することができる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Physical & health education guide」に基づいています。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	バランス	選択	エネルギー
環境	機能	交流・相互作用	動作
視点・観点	改良	スペース	システム

### 年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価観点（【】内） および課題概要と評価方法	学習指導要領観点との対応
前期 （4月～9月）	1	1. Change（変化） 2. Identities and relationships（アイデンティティと関わり合い） 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・創造的思考スキル	A 体づくり運動 （ア）体ほぐしの運動 （イ）体力を高める運動 アスレチックコースづくり H. 体育理論にかかわること	評価規準 B：体力要素の理解をもとに、ねらいに応じたアスレチックの作成計画を立てる。 評価規準 D：作成したアスレチックがねらいに応じた物であったか振り返る。 【B】【D】	②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-D  A-3

	2	1. Communication(伝達) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関わり合い) 3. 振り返りスキル・批判的思考スキル	E. 球技 (ア.ハンドボールⅡ) H. 体育理論にかかわること	評価規準 B 幅広く技術や技能を効果的に応用する (実際に示す) 計画を立てる。 評価規準 D (個人) 互いの活動を評価し、学習の振り返りをレポートにまとめる。 【B】 【D】	①思考・判断・表現-B  ②思考・判断・表現-D 2. C-12
	3	1. Communication(伝達) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル・情動スキル・振り返りスキル	集団演技 B 器械運動 (ア) マット運動 G ダンス (ウ) 現代的なリズムのダンス H. 体育理論にかかわること	評価規準 B : チームや個人の力を認識し、集団としての構成を計画的にプログラムする。 評価規準 C グループにおける技の構成と個人の技能を評価する。 【B】 【C】	①知識・技能-C ②思考・判断・表現-B  C-15
後期(10月~3月)	4	1. Change (変化) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関わり合い) 3. 協働スキル・振り返りスキル	E 球技 (イ) バレーボールⅡ H. 体育理論にかかわること	評価規準 A : レセプションフォーメーション、ポジションチェンジの理解を示す課題をレポートにまとめる。 評価規準 C : 学びで得た知識がわかるパフォーマンスを、動画をもとに示す。 【A】 【C】	①知識・技能-A・C  B-9
	Unit 外	1. Relationships(関係) 2. 関係 (Relationships) 3. コミュニケーションスキル、協働スキル、振り返りスキル	E 球技 (ア) バスケットボールⅡ H. 体育理論にかかわること	・ゾーンディフェンスの型の特性を理解し、自分や相手の特性に応じて効果的な使い方を理解する。 ・相手の特性を意識したゾーンディフェンスの在り方、反対に、相手を選択したゾーンディフェンスの破り方の視点で、自チームのパフォーマンスを動画から振り返る。	
通年		1. Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. 批判的思考スキル	H. 体育理論 (1) スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴	現代生活においてスポーツの文化的意義が高まってきたことを理解する。 スポーツを通じた人のつながりや国際的な大会が及ぼす文化的な意義や効果を交流する。	
通年	6	1. Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. 情報リテラシースキル・メディアリテラシー・批判的思考スキル・転移スキル	H. 保健 (1) 現代社会と健康 (2) 安全な社会生活 (4) 健康を支える環境づくり	評価規準 A 人間の健康が主体と環境との関わりであることを学び、その要因に対する適切な対策を知りレポートにまとめる。また、日常生活で起こる障害や疾病に対する対応について実習を通して理解して、応急手当や心肺蘇生法ができるようにする。 評価規準 B 自他や社会の課題を発見し、その解決に向けた取り組みを計画する。 評価規準 C : 応急手当で心肺蘇生の流れを実践し、動画におさめる。 評価規準 D 得た知識をどのように実生活に応用するかレポートに記述する。【A】 【B】 【C】 【D】	①知識・技能-A・C ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-D  B-12